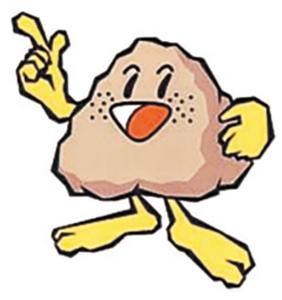




### ◆七宗町

七宗町は岐阜県の中南部に位置し、国道四十一号で愛知県尾張地方、名古屋市区と結ばれ、休日にはドライブや登山客などが訪れる都市部に近い自然豊かな町です。

七宗町の人口は約四千人。面積は県庁所在地の岐阜市の約半分の九〇〇〇〇坪ですが、森林率は九一・五割と高く、あまり知られていませんが、岐阜県の美濃地方（飛騨地方を除く）の市町村で最も高い森林率を誇ります。



礫岩から生まれた「レッキー君」(七宗町のマスコットキャラクター)

◆石のまち  
七宗町には「日本最古の石博物館」があります。

日本最古の石とは、一九七〇年に飛騨川河床から発見された二十億年前の片麻岩で、この石は「上麻生礫岩」(かみあそうれきがん)と呼ばれ、今までに年代測定された石の中で、日本最古の石であることがわかっています。



日本最古の石博物館。左奥は道の駅

日本最古の石博物館には二十億年前の石である上麻生礫岩をはじめ、地球の誕生から現在に至る四十六億年の歴史がわかる資料が展示されています。隣には「道の駅・ロックガーデンひちそう」と「物産館ロックタウンプラザ」があり、眼下には飛水峡の景観が広がります。

さらに、飛騨川の激流が長い歳月をか

けて岩石を壺状に削り取った甌穴(おうけつ)。ポットホール)は、飛騨川の峡谷である飛水峡一帯に点在し、大きなものは穴の直径が五メートル、甌穴の数は八八〇個あると言われ、他に類のない規模の甌穴群です。

石博物館は、国道四十一号線沿いであり、北に走れば岐阜森林管理署のある下呂市、飛騨地方へ。南に走れば愛知県尾張地方、名古屋市区へ抜けれます。ドライブを兼ねて日本最古の石や甌穴群を見に来ませんか。



道の駅の眼下に広がる飛水峡

### ◆森林共同施業団地と ケーススタディ地区

岐阜森林管理署では平成二十七年三月に、七宗町、岐阜県、森林組合などと森林整備推進協定を締結し、民有林と国有林が連携して木材生産を進めています。

また、平成二十八年度からはこの森林共同施業団地を林野庁のケーススタディ地区に設定し、各種事例研究を開始しました。例えばニホンジカ対策では、岐阜県初の職員捕獲の試行や、ニホンジカ食害防除対策検討会を開催しました。



ニホンジカ食害防除対策検討会

地区内の隣接にニジマス釣り池及び釣ったマスの料理や食事を楽しめる施設があり、当署も研修会の会場として利用しています。

これからも国有林が、地域振興の一助となるような取り組みを行い、七宗町の活性化につなげていければと思っています。

### 【アクセス】

東名高速道路小牧ICから国道四十一号を北上し、約一時間で「道の駅・ロックガーデンひちそう」へ。